

# MiTA

水島ポートニュース  
Mizushima International Trade Association

2023/11/21

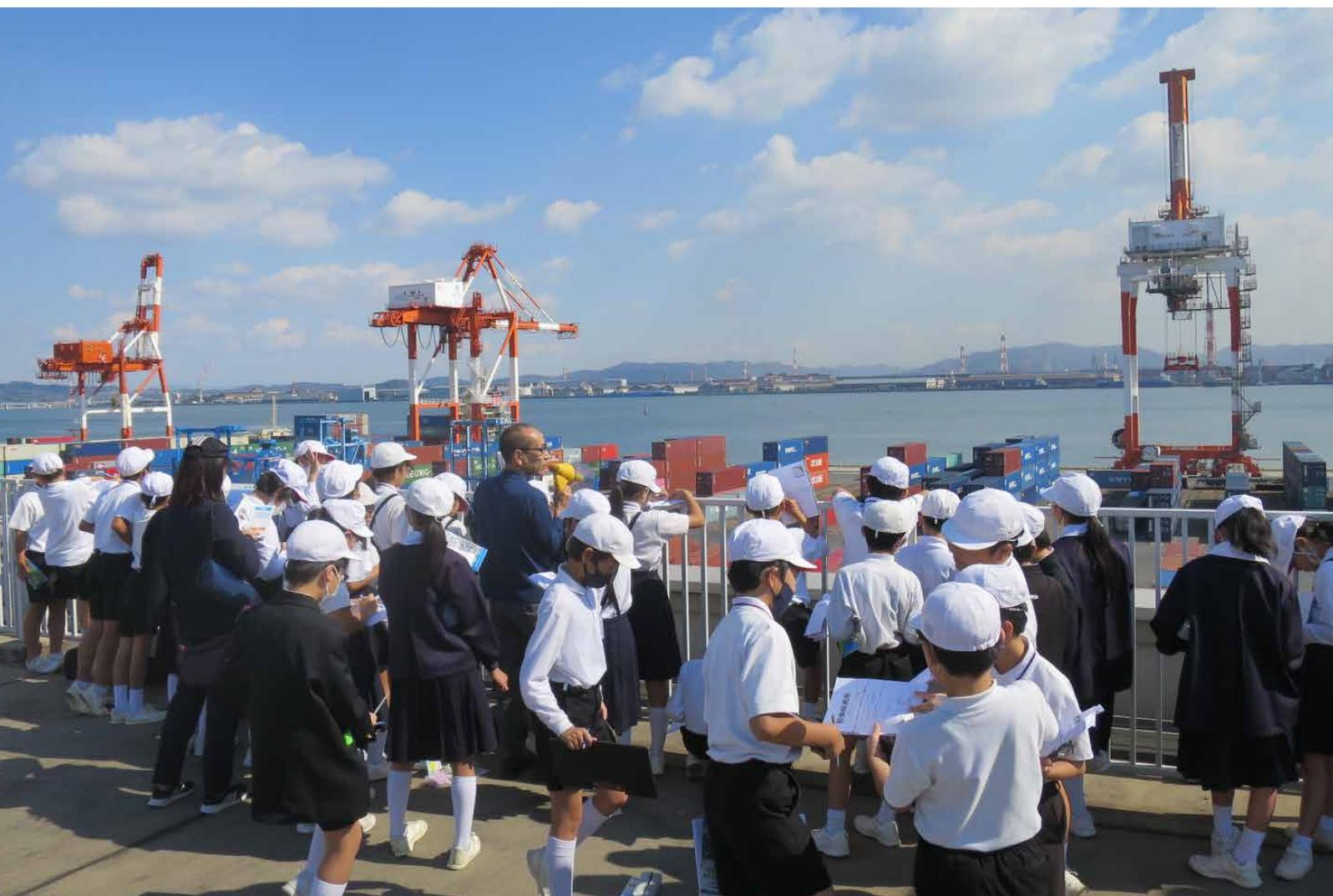
Vol. **79**



## Contents

---

- ・ 海外ポートセールスを実施
- ・ MITA総会開催報告
- ・ MITA要望活動
- ・ 水島港見学会を開催
- ・ 水島港の利用促進に関する意見交換会を開催
- ・ 三菱自動車感謝祭に出展
- ・ 三菱自動車工業水島製作所が開所80周年を迎えました
- ・ 【会員紹介】前嶋工業株式会社
- ・ 水島港の定期コンテナ航路等の紹介



## 海外ポートセールスを実施

令和5年10月5日(木)～7日(土)の3日間、韓国・ソウル市において、水島港運協会の酒井忠之会長を团长とするMITA訪問団15名で、水島港のポートセールスを実施しました。

現在、水島港には韓国、中国及び台湾の2か国1地域に、14航路週15便の定期コンテナ航路を有していますが、中でも韓国航路では7社が週8便を運行しており、県内企業の競争力強化のためにも、この利便性の高い航路の維持・拡大を図ることが大変重要です。このため、水島港のコンテナ航路に関係する企業・団体、岡山県と倉敷市による訪問団がコンテナ船社を訪問するなどし、航路の維持・拡大を直接働きかけるポ



天敬海運への表敬



長錦商船・興亜Lineへの表敬

セールスを行ったものです。

現地では、水島港と韓国の港との間に定期コンテナ航路を有する船社6社(天敬海運(株)、南星海運(株)、長錦商船(株)、興亜Line(株)、汎州海運(株)、高麗海運(株))を表敬訪問し、各社の定期航路の長年にわたる運航に対する謝意を伝えるとともに、今後のサービスの維持・拡充を要請しました。各社においては、幹部の皆様が御対応いただき、訪問に対する謝辞をいただくとともに、最近のコンテナ航路の情勢など幅広く意見交換を行いました。

また、ソウル市内のホテルで水島港セミナーを開催し、今回訪問した船社等の皆様の御参加をいただきま

した。セミナーでは、水島港のPR動画やパワーポイントを使用して水島港の概要を説明するとともに、コンテナヤードの拡張工事など、水島港の最新動向も紹介しました。

セミナーに引き続いてのレセプションでは、水島港の更なる利用促進に向けた活発な意見交換が行われました。参加された船社の方々の中には、日本での駐在経験がある方も多く、韓国語と日本語が入り混じる和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

新型コロナウイルスの影響により海外渡航が困難であったことから、MITAの海外ポートセールスは令和元年度の中国訪問以来4年ぶり、韓国におけるポートセールスは平成30年度以来5年ぶりとなりました。参加いただいた皆様からは、官民一体で、また海外船社の本社を直接訪問するポートセールスの重要性や意義を再認識したとお声をいただいています。

MITAでは、今後も引き続き官民一体となり、水島港のコンテナ航路の維持・拡大につながるよう、積極的なポートセールスに努めてまいります。



水島港セミナー(ソウル市内のホテルにて)



総会開催状況



竹林幹雄教授(神戸大学)の講演



伊原木知事あいさつ

6月12日(月)、岡山市内のホテルグランヴィア岡山で第26回MITA総会を開催し、来賓、会員合わせて107名に御出席いただきました。  
 会の冒頭、MITA会長として伊原木岡山県知事があいさつし、岡山県経済における水島コンビナート、水島港の重要性を再認識するとともに、水島港のさらなる機能強化に向けた決意を表明しました。

総会では、MITA理事である、酒井忠之水島港運協会の会長が議長を務め、顧問の承認、役員の変更、令和4年度事業報告及び収支決算並びに令和5年度事業計画案及び収支予算案の4議案について、いずれも承認されました。  
 議事後、神戸大学大学院海事科学研究科の竹林幹雄教授に「ポストコロナの国際物流と水島港への期待」と題して御講演いただきました。

### 講演要旨

- ◎ 1990年代からの世界経済の「グローバル化」の流れは、コロナ禍や米中貿易摩擦などの影響もあり、「ブロック化」していると考えられる。アメリカや日本と中国との貿易は減少ないしは停滞傾向で、代わってASEANや台湾との貿易に増加の傾向がみられる。
- ◎ 国では「国際コンテナ戦略港湾政策」を進め、内航フィーダー船で拠点港への集貨を進めているが、これは、経済安全保障の観点も踏まえ、基本的に北米など長距離貨物を対象としたもの。拠点港対地方港の構図で考えるべきではない。
- ◎ 地方港では背後地の需要に応じたサービス提供が望まれており、背後地の荷主に便益があり、かつ、国の施策にも沿うやり方を戦略的に検討するべきである。例えば、ASEANとの直送ルートの開拓なども考えられる。
- ◎ 水島港には、今後、水島コンビナートを背後地とする「工業港」としての強みを生かしつつ、他港と連携した「商業港」の機能が加わっていくことを期待したい。

※内容は講演時の情勢に基づいています。

## 水島港の整備促進などを要望しました

MITAでは今年度も、国土交通省等に対し、要望活動を実施しました。

7月26日(水)、塩田要望団長(JFEスチール(株)西日本製鉄所倉敷地区総務部長)以下15名のMITA要望団は、国土交通省中国地方整備局の牧野副局長他10名の幹部へ、翌7月27日(木)には、塩田要望団長以下12名で、国土交通省四国地方整備局の森次長他7名の幹部へ要望内容を説明しました。

また、7月31日(月)には、堀澤要望団長(JFEスチール(株)西日本製鉄所倉敷地区所長)以下11名のMITA要望団が、MITA顧問の橋本岳衆議院議員に同行いただき、国土交通省本省等への要望活動を実施しました。

当日は、堀澤団長が豊田俊郎副大臣(当時)、稲田港湾局長等に直接要望書を手渡し、要望内容について説明しました。

併せて、衆参両議員会館にて県選出国會議員(MITA顧問)の事務所に要望書を持参し、要望内容の実現に対する支援をお願いしました。

今後もMITAでは、水島港の発展のため要望活動を実施してまいります。

### 要望項目

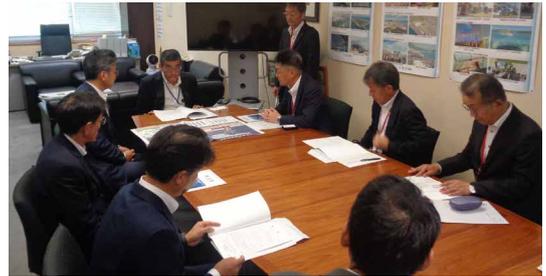
- ①船舶の大型化に対応した港湾施設の整備促進
- ②浚渫土砂処分場の確保に向けた取組の促進
- ③備讃瀬戸航路の航行環境の改善



令和5年度MITA要望書



豊田副大臣(右から3人目)に要望書を手交



稲田港湾局長(中央奥)に要望内容を説明



四国地方整備局での要望活動



中国地方整備局での要望活動

## 水島港見学会を開催

令和5年8月24日(木)に水島港見学会を開催しました。今回は、コロナ禍の制約が緩和されたことを受け、水島港の見学に加えて工場見学を再開。船舶用プロペラを製造するナカシマプロペラ株式会社玉島工場の見学を行いました。

玉島工場は、平成17年12月に船舶の大型化と世界的な建造需要拡大に対応するため、大型の固定ピッチプロペラの専用工場として操業を開始。従前の工場での物流の課題を解消し、国際コンテナターミナルから国内外へダイレクトにプロペラを出荷することが可能になったとの説明がありました。

工場内の見学では、直径10m以上のプロペラの鑄造・加工・仕上げを行う工程を見学。スケールの大きさに圧倒されました。また、工場内は直線的な無駄のないレイアウトで生産性の向上と作業の安全性を重視されていることが分かりました。見学を通じて、最先端のデジタル技術と僅かな誤差を見分ける職人技を融合し、世界に誇るものづくりが行われていることを参加者同、体感することができました。

そして、水島港の見学では、船上から水島地区・玉島地区の主な埠頭や工場群のほか、コンテナ船・自動車運搬船の荷役の様子、水島玉島航路の浚渫作業の様子などを見学し、水島港の活況や機能強化が進む姿を肌で感じることができました。

この見学会を通じて、参加された皆様の水島港への理解が深まり、積極的な利用につながれば幸いです。最後に、お忙しいなか快くご対応いただきましたナカシマプロペラ株式会社の皆様、御参加いただいた皆様に改めてお礼を申し上げます。



## 水島港の利用促進に関する意見交換会を開催



水島港国際物流センター(株)では、令和5年10月17日、東京都内において「水島港の利用促進に関する意見交換会」を開催しました。水島港に外資定期コンテナ航路を有する船社8社(15名)と、地元水島港の船舶代理店4社(7名)、また行政からは、岡山県港湾課並びに倉敷市水島港振興室の方々にご出席いただき、昨年度に続いての開催となりました。

当社西本社長の開会あいさつに続き、当社から水島港国際コンテナターミナルの現況について説明を行い、続いて岡山県港湾課から水島港の現状(岡山県の取組)について説明をいただきました。その後の意見交換では、ご出席された皆様方から、多数の質問や有益なご意見、ご提言をいただいたところでした。

また意見交換終了後に開催した懇親昼食会では、和やかな雰囲気の中で、皆様との親睦を深めることができました。

今回の意見交換会は、船社様をはじめ、関係の皆様と一堂に会し、意見交換を行うことができ、大変有意義なものとなりました。皆様からいただいたご意見やご提言をしっかりと検討し、コンテナ貨物の増加や利用促進を図っていきたくと考えております。

【水島港国際物流センター】



意見交換会後の懇親昼食会

## 三菱自動車感謝祭に出展



ブースの様子

令和5年10月22日(日)、三菱自動車工業株式会社水島製作所で5年ぶりに開催された「三菱自動車感謝祭」に出展しました。

MITAのブースでは、水島港の概要、取扱貨物などを解説するパネルや、水島港の利用促進に努めるMITAの活動を紹介するパネルを展示しました。またMITAポルトニュースなどを配布し、水島港の最新の話題についても紹介しました。

当日は晴天に恵まれ、荷役体験機(クレーンゲーム)によるアトラクションは長蛇の列となり、家族連れに大人気でした。



大人気のクレーンゲーム

# 三菱自動車工業水島製作所が開所80周年を迎えました



80周年記念式典

三菱自動車工業株式会社水島製作所(倉敷市水島海岸通)は、昭和18年(1943年)9月に三菱重工業株式会社水島航空機製作所として操業を開始してから80周年を迎えました。これを記念して、令和5年(2023年)9月1日に、水島製作所にて開所80周年記念式典が開催されました。

当日は、三菱自動車工業株式会社の加藤隆雄



浜崎所長 伊東市長 加藤社長 伊原木知事 北尾上席執行役

記念植樹

【写真提供 三菱自動車工業(株)水島製作所】

代表執行役社長兼最高経営責任者と北尾光教上席執行役、水島製作所の浜崎憲所長(MITTA理事)に加え、伊原木隆太知事(MITTA会長)や伊東香織倉敷市長(MITTA副会長)などの方々が来賓として出席しました。

式典では、加藤社長から、水島製作所の歩みを振り返り、今後さらなる成長していく旨のあいさつがあり、伊原木知事からは県経済への水島製作所の大きな貢献やEVシフトにおける水島製作所の重要性について、また伊東市長からは水島の町とともに歩み、成長してきた水島製作所のさらなる発展を願う祝辞がありました。

式典の終了後は、80周年の記念植樹も行われました。

水島製作所は水島コンビナートへの企業立地のさきがけであり、水島製作所の立地と並行して建設された港湾施設は、その後の水島港の発展

## 三菱自動車工業株式会社 水島製作所のあゆみ

の基礎となりました。水島製作所で製造された自動車は、水島港から国内各地へ、また全世界へと運ばれています。

水島港とともに成長を続けてきた三菱自動車工業株式会社水島製作所が、今後も未永く発展していくことを願ってやみません。

### 水島製作所での現在の生産車種

- ◆ RVR
- ◆ eKクロスEV
- ◆ デリカミニ
- ◆ eKクロス
- ◆ eKワゴン
- ◆ eKスペース
- ◆ ミニキャブ・ミーブ

- 昭和18年(1943) 三菱重工業株式会社水島航空機製作所として設立
- 昭和21年(1946) 小型三輪トラック「みずしま号」生産開始
- 昭和34年(1959) 中型トラック「ジュビター」生産開始
- 昭和35年(1960) 軽商用車「三菱360」生産開始
- 昭和45年(1970) 三菱重工業株式会社から自動車事業部門を分離、三菱自動車工業株式会社設立
- 昭和54年(1979) 生産累計5百万台を達成
- 昭和62年(1987) 生産累計1千万台を達成
- 平成10年(1998) ISO14001を取得
- 平成11年(1999) 水島自動車製作所から水島製作所に改称
- 平成21年(2009) 世界初の量産型新世代電気自動車「アイ・ミーブ」生産開始
- 平成23年(2011) 電気自動車「ミニキャブ・ミーブ」生産開始
- 平成24年(2012) 電池パック組立工場を設置
- 平成25年(2013) 電気自動車生産累計3万台を達成
- 平成29年(2017) 日産自動車と共同開発した軽自動車の第一弾「eKワゴン」発売
- 令和4年(2022) 総合特区制度による規制緩和の成果として、車両後面の回送運行番号標の取付けが免除された完成車の運行を水島地区内で開始
- 令和4年(2022) RVRを岡崎製作所から生産移管
- 令和4年(2022) 新型軽電気自動車「eKクロスEV」生産開始

(三菱自動車工業(株)ホームページ等をもとに作成)

# <会員紹介> 前嶋工業株式会社

## 【当社の概要】

当社は1971年に備前市内の耐火物メーカーの関連会社として設立され、現在は自主独立し、主に製鋼用耐火物の骨材原料である鉱物の加工を行っております。

また、近年耐火物原料だけでなく、不定形耐火物の受託製造や建材用途の原料加工・製鋼用副資材等も製造しています。

## 【当社の業務について】

主な業務は耐火物や建材原料となる鉱物を粉砕し、お客様の規格に合わせた分級加工を行い出荷しています。また、当社独自の製品他に国内のみならず海外からの受託加工も行っています。

他には海外で製造された原料や製品を直接輸入しお客様に販売する商社機能も併設し事業展開の拡大を図っています。

従業員は正社員31名の他に構内作業協力会社3名です。

## 【当社の取り組み】

安全・品質・納期の3原則の順守を基に業務を遂行しています。

従業員の健康重視の観点から電動ファン付きの防塵マスクの導入や法律で定められた健康診断の他に年1回人間ドックの受診も行い、傷病の早期発見と治療を促進しています。

品質面も製品の全数検査と一定期間のサンプルを保管するなど、お客様より高い評価を頂いています。

社内でのチームワークも良く、短納期で受注した製品や作業も社員同士が協力して、お客様のご希望に添えるよう努力しています。

## 【おわりに】

当社は創業50年を過ぎ、次の50年を見据えた事

業創成や機構改革を推進し、地域貢献にも積極的に取り組み、お客様のみならず地元の皆様にご信頼して頂くため「NEXT50」のスローガンを掲げ全従業員が一丸となつて業務に精励しています。

## 【会社概要】

名称 前嶋工業株式会社  
代表者 代表取締役 實末 哲和  
所在地 岡山県備前市伊部2723-3  
事業内容 耐火物原料・建材原料加工販売



正門前から撮影



作業中のホイールローダー



輸入された原料を搬入

# 水島港の定期コンテナ航路等の紹介

## ◆外貿定期コンテナ航路(2ヶ国1地域14航路 15便/週)◆

2023年10月末現在

曜日	航路名	船社	航路	代理店
月	大連	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd.	(火) (木) (金) (月) (金) (土) 天津新港→大連→青島→福山→水島→広島→細島→志布志→寧波→上海	日本通運(株)水島海運支店
火	韓国	高麗海運(株) Korea Marine Transport Co.,Ltd.	(土) (土) (日) (火) (木) (金) 蔚山→釜山→今治→水島→福山→広島→松山→釜山	中谷興運(株)
	大連	上海民生輪船有限公司 Shanghai Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(火) (水) (木) (土) (火) (土) (土) 天津新港→大連→青島→伊万里→福山→水島→高松→広島→三田尻中関→天津新港→大連→青島	株上組玉島支店
	上海	上海民生輪船有限公司 Shanghai Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(土) (火) (土) (土) 上海→福山→水島→高松→広島→岩国→上海	株上組玉島支店
水	上海	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd.	(金) (土) (火) (火) (木) (金) 寧波→上海→伊万里→福山→水島→広島→志布志→天津新港→大連→青島	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	カメリアライン(株) Camellia Line Co.,Ltd.	(土) (日) (水) (土) (日) 釜山(新港)→伊予三島→大阪→水島→中関→釜山(新港)	中谷興運(株)
	韓国	興亜LINE(株) Heung A Line Co.,Ltd.	(日) (水) (木) 釜山→広島→今治→松山→福山→水島→釜山	日本通運(株)水島海運支店
木	韓国	南星海運(株) Namsung Shipping Co.,Ltd.	(金) (水) (金) 釜山→広島→伊予三島→松山→今治→伊予三島→水島→博多→釜山	日本通運(株)水島海運支店
	台湾	ワンハイラインズ(株) Wan Hai Lines Ltd.	(木) (火) (水) (木) (土) 大阪→水島→福山→広島→基隆→台中→高雄→香港→大阪	中谷興運(株)
金	韓国	汎洲海運(株) Pan Continental Shipping Co.,Ltd.	(月) (火) (木) (金) (土) (日) 釜山→広島→神戸→大阪→高松→水島→蔚山→釜山	中谷興運(株)
	上海	上海民生輪船有限公司 Shanghai Minsheng Shipping Co.,Ltd.	(火) (金) (火) 上海→三田尻中関→水島→福山→伊予三島→広島→上海	株上組玉島支店
土	上海	神原汽船(株) Kambara Kisen Co.,Ltd.	(火) (金) (火) 上海→伊万里→福山→水島→広島→大分→上海	日本通運(株)水島海運支店
	韓国	天敬海運(株) C.K.Line Co.,Ltd.	(水) (木) (土) (日) (月) (火) (水) (木) 釜山→神戸→大阪→水島→釜山→仁川→釜山	中谷興運(株)
	韓国	高麗海運(株) Korea Marine Transport Co.,Ltd.	(水) (土) (火) 釜山→福山→徳島→今治→水島→細島→釜山	中谷興運(株)
	韓国	長錦商船(株) Sinokor Merchant Marine Co.,Ltd.	(月) (火) (土) (火) 釜山→釜山(新港)→徳山→伊予三島→今治→松山→水島→岩国→釜山	山九(株)岡山支店

## ◆内貿定期コンテナ航路(4航路 8便/週)◆

曜日	航路	船社	航路	代理店
火土	神戸	(株)ユニエックスNCT Uni-x Nct Corporation	神戸→水島→神戸	中谷興運(株)
火木	神戸	井本商運(株) Imoto Lines .Ltd	神戸→水島→神戸	株上組玉島支店
火木土	神戸	リエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド 日本支社 Orient Overseas Container Line Ltd Japan Branch	神戸→水島→神戸	株上組玉島支店
金	沖縄	南日本汽船(株) Minami Nippon Kisen Co.,Ltd.	那覇→水島→大阪→那覇	日本通運(株)水島海運支店

### ■お問い合わせ先

#### 中谷興運株式会社 玉島港湾事業部

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-2(玉島ハーバーアイランド内) / TEL.086-522-6321(代) / FAX.086-522-6631

【営業課】TEL.086-522-7600(貨物取扱全般) 【倉庫課】TEL.086-522-6494(倉庫)

【陸運課】TEL.086-522-8616(配送) 【通関課】TEL.086-522-6492(輸出入通関)

【代理店課】TEL.086-523-5551(船社代理店) 【コンテナオペレーション課】TEL.086-436-7680(CY・作業関係)

ホームページアドレス

<http://www.nakatani-grp.com/koun/>

#### 日本通運株式会社 水島海運支店

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8259-15(玉島ハーバーアイランド内)

【国際輸送】TEL.086-523-0203/FAX.086-523-0404(通関・フォワーディング・国際営業) 【オペレーション】TEL/086-523-0223/FAX.086-523-1471(作業関係)

【港運】(港湾荷役・倉庫・配送) TEL.086-523-0205/FAX.086-523-1471 (船舶代理店) TEL.086-523-0204/FAX.086-523-1755

ホームページアドレス <https://www.nittsu.co.jp/>

#### 株式会社 上組 玉島支店港運課

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1 / TEL.086-525-8670 / FAX.086-525-0890 ホームページアドレス <http://www.kamigumi.co.jp/>

#### 山九株式会社 岡山支店 業務グループ

【船舶代理店関係/港運係】 〒712-8051 岡山県倉敷市中畝1-7-23 / TEL.086-455-8133 / FAX.086-455-8167

【通関・輸出入乙仲関係/輸出入係】 〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新湊8262-1 / 水島港国際コンテナターミナル4F TEL.086-525-0039 / FAX.086-525-5139

ホームページアドレス <http://www.sankyu.co.jp/>

今号の表紙

国際コンテナターミナルを見学する地元小学生(令和5年10月25日)

写真提供:水島港国際物流センター(株)

MITAホームページアドレス 携帯からは

<http://www.optic.or.jp/MITA/> こちら▶▶

※水島ポートニュースのバックナンバーもご覧いただけます。

